PlayTech
light in the groove

SUPERSPOT250

取扱説明書

この度は PlayTech SUPER SPOT250 をお買い求め頂きまして、まことにありがとうございます。
SUPER SPOT250 の機能を十分に発揮させるとともに、快適にご使用頂くために、この取り扱い説明書をご使用の前に必ずお読みください。お読みになったあとは保証書とともに大切に保管してください。

！安全上のご注意　－ご使用にあたって安全にお使い頂くために－

使用前の注意事項	
・ この取り扱い説明書にしたがって操作してください。	・ 本体を設置する際、必ずセーフティワイヤーを使用して下さい。セーフティーワイヤーは専用の穴に通して下さい。
・ 電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードが鋭いものに触れない様、注意して下さい。時々電源コードを検査し、損傷がないか確認して下さい。	・ 購入後や輸送後は、必ず電球の位置を確認して下さい。電球が内部プレートに接触した状態で使用しないで下さい。
・ この機器の近くに、水などの入った容器や小さな金属物を置かないで下さい。	・ 移動の際は専用のフライトケースを使用して移動を行ってください。
・ この機器は AC100V 専用です。それ以外の電源では使用しないで下さい。（船舶、AC200V、ディマーパック等）	・ 45℃以上の場所で使用しないで下さい。45℃を超えると、自動的に電球を5分間消灯します。
・ 電源プラグは一番最後に接続して下さい。	・ レンズにひびや引っかき傷がある場合、すぐに使用を止めレンズを交換してください。
・ 主電源に機器を繋ぐ前にスイッチが OFF になっている事を確認して下さい。	・ 必ず使用前に各カバーやネジが完全に閉まっていることを確認して下さい。
・ 電源プラグのアース線を必ず接続してください。また、アース線をはずす場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後で行ってください。	・ 本体の取り付け、取り外し時は、下方に人や物が無い事を確認してから行って下さい。
・ この機器は室内専用となります。野外での使用の場合、専用のケースを使用して下さい。	・ 設置する位置に関して、電球と電光が照らされる場所との間は最低 1m 以上あけて下さい。
・ この機器が急激な温度変化（輸送後など）にあった場合、すぐにスイッチを入れないで下さい。機器が室内温度になるまでスイッチを OFF にしておいて下さい。	・ 設置する際、高温、多湿、埃の多い場所、ケーブルが散乱している場所は避けて下さい。
・ 揺り動かさないで下さい。設定時や使用時など乱暴に取り扱わないで下さい。	・ ヘッド部分を持って本体を持ち上げないで下さい。必ずベース部分のハンドルで機器を持ち上げてください。
使用中・使用後の注意事項	
・ 使用する際に焦げ臭いニオイが出ることがありますが、必ずしも故障というわけではありません。	・ オブジェクトレンズやカバーが開いている際には電球を点灯しないで下さい。放電された電球は高紫外線を放射します。
・ 使用中は機器が高温になるので気をつけて下さい。	・ 電球やヒューズは同規格の物のみ使用して下さい。
・ 点灯中に電球及びレンズを直視しないで下さい。	・ 電球を短間隔で付けたり消したりしないで下さい。
・ 電球が装着されていない状態で使用しないで下さい。	・ 使用時以外はかならず電源スイッチを切ってください。
・ 清掃時は電源スイッチを切り、電源コンセントを抜いてから清掃を行ってください。	・ 電源コードはプラグの部分で抜くようにして、コードを引っ張ったりしないで下さい。

不適切な使用や改造が原因による怪我や故障の場合、保証はいたしかねますのでご了承ください。

目次

はじめに 5

各部の名称 8
- 全体図 8
- リアパネル 8
- フロントパネル 8

セッティング 9
- 電球の取り付け･交換 9
- ゴボの挿入･交換 11
- 本体の取り付け 12
- 主電源への接続 12
- DMX512への接続 －機材間接続－ 13
- XLR 接続 13
- DMX チェーンの構築 13

アドレス －DMX チャンネル設定－ 14
- DMX アドレス 14
- DMX スタートアドレス設定 14
- コントロール 15

リモートコントロール 16
- 電球 16
- カラーホイール 16
- ロータリー ゴボホイール 16
- ロータリープリズム(三相) 16
- フォーカス 16
- 調光･シャッター･ストロボ 16
- ファン 16

コントロールボード 17
- メニュー詳細 17
- 1．DMX512アドレス 17
- 2．PAN リバース 17
- 3．TILT リバース 17
- 4．動作解像度切り替え 17
- 5．電球点灯時間 18
- 6．電源投入時間 18
- 7．電球 on / off 18
- 8．デモシーケンス 18
- 9．リセット 18

コントロールボード
特殊設定 19
1．マニュアルコントロール 19
2．自動電球点灯 19
3．DMX 値 20
4．ディスプレイ自動消灯 20
5．ディスプレイ照度調整 20
6．DMX 操作による電球消灯 20
7．内部温度(ヘッド部) 20
8．ファンスピード設定 21
9．設定の初期化 22
10．カラー、ゴボ及びエフェクトホイール等の位置調整 23

メッセージ(ディスプレイ) 25

DMX プロトコル 27
動作解像度16BIT モード時 27
動作解像度8BIT モード時 29

メンテナンスとクリーニング 30

はじめに

このたびは、PlayTech ムービングヘッド SUPER SPOT250 をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
SUPER SPOT250 は DMX コントローラーで操作できるムービングヘッド タイプの照明機器です。専用のクランプを使用することにより、トラス等に固定することが可能で、ライブステージや店舗等、さまざまなシーンに対応が可能です。
SUPER SPOT250 の主な特徴は次のとおりです。

SUPER SPOT250 の特徴

電源

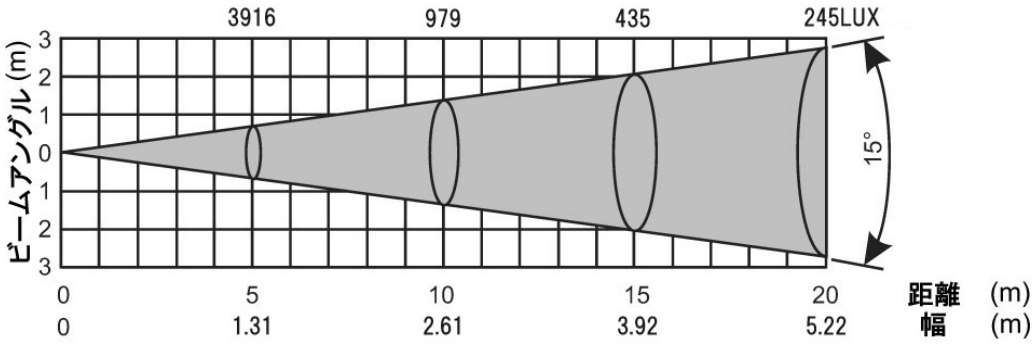
・電圧: 100V AC 50~60Hz
・ヒューズ: T6.3A, 100V 及び 115V 時
・消費電力: 500W

電球

・Osram HSD 250/78
・GE CSD 250
・Philips MSD 250/2

レンズ

・高効率放物線ミラー及びダブルレンズシステム
・ビームアングル 15 °
・全レンズ 反射防止コーティング



カラー

・11 ダイクロイックフィルター＋白色（オープン）
・両方向に連続回転可能なカラーホイール（レインボーエフェクト）

ストロボ

・スピード可変のストロボ機能（1～10 回/秒）

ディミング(調光)

・0-100%

プリズム

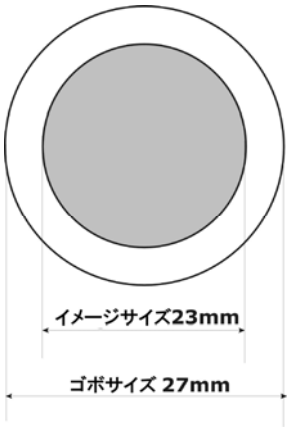
・3 相ロータリープリズム機能
・両方向に連続回転可能

フォーカス

・遠近リモートコントロール可能

ゴボ

・交換可能な 6 種類のロータリーゴボ＋スポット（オープン）
・連続回転可能なロータリーゴボホイール
・ゴボサイズ 27mm
・ゴボイメージサイズ 23 mm



ソフトウェア

・Usitt DMX512 プロトコル
・16 コントロール/14 コントロール チャンネル

Channel 1:	Pan 8 bit
Channel 2:	Pan-fine 16 bit
Channel 3:	Tilt 8 bit
Channel 4:	Tilt-fine 16 bit
Channel 5:	Pan / Tilt スピード
Channel 6:	ファンスピード, ランプ On/Off, リセット
Channel 7:	カラー
Channel 8:	－使用しません－
Channel 9:	プリズム
Channel 10:	プリズム ローテーション
Channel 11:	ゴボ
Channel 12:	ゴボ ローテーション
Channel 13:	－使用しません－
Channel 14:	フォーカス
Channel 15:	シャッター, ストロボ
Channel 16:	ディマー

Pan / Tilt

・Pan 動作範囲: 530 °
・Tilt 動作範囲: 280 °
・8/16 bit 動作解像度切り替え
・PAN/TILT 位置自動調整
・最高動作速度：Pan 530 °/2.70 秒
・最高動作速度：Tilt 280 °/1.72 秒

設置可能位置

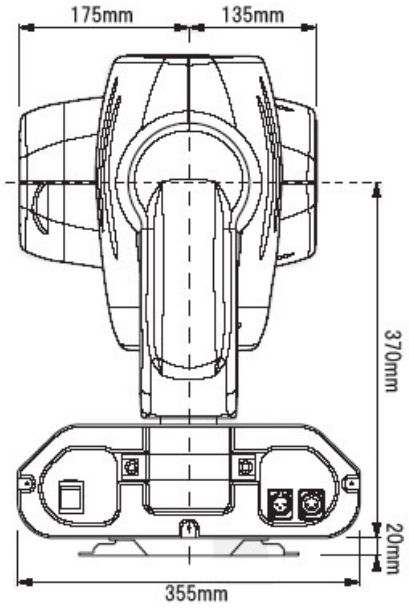
・床に置いて使用
・平行あるいは垂直にクランプを２個使用して固定
・セーフティー ワイヤー/チェーンを必ず使用

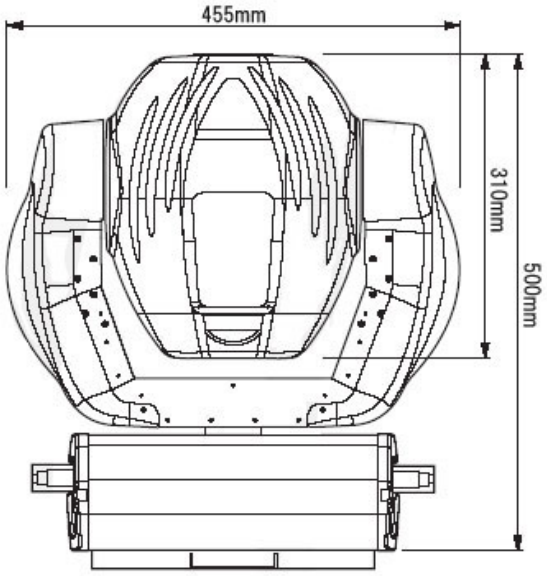
動作温度

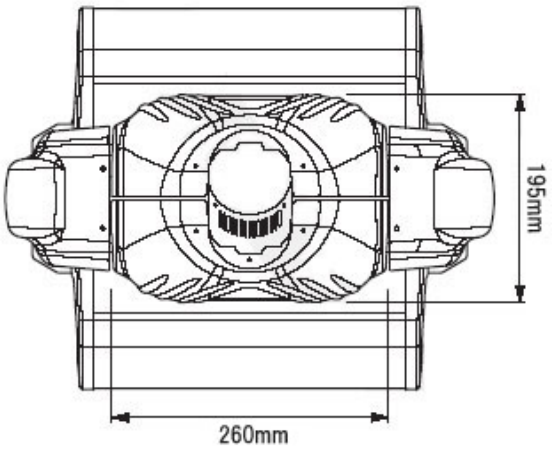
・最大周囲温度：45℃
・最大内部温度：82℃

寸法･重量

・ベース長：355㎜
・ヨーク幅：455㎜
・高さ(ヘッド垂直時)：500㎜
・本体重量：23.5 kg

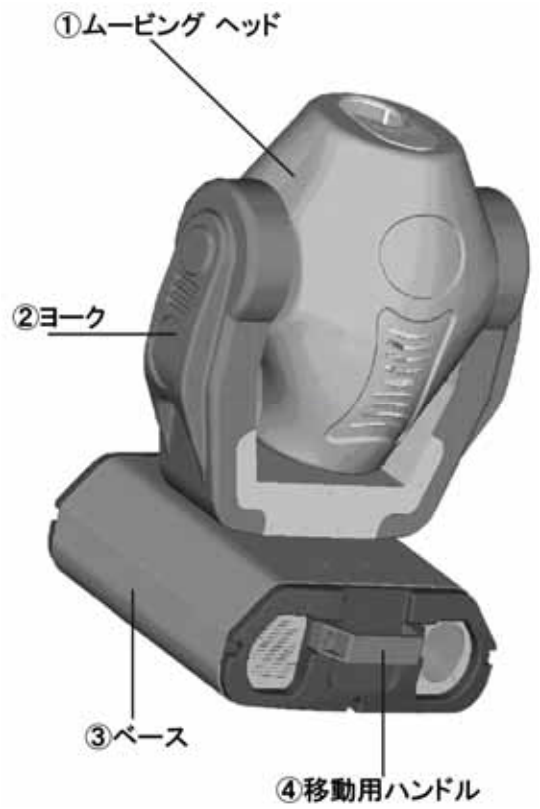




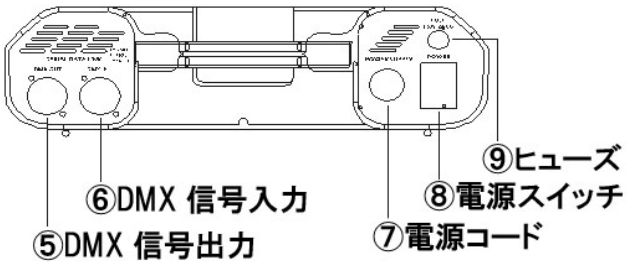


各部の名称

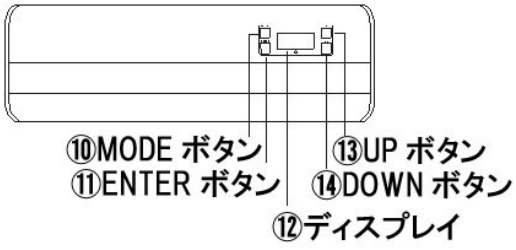
● 全体図



● リアパネル



● フロントパネル



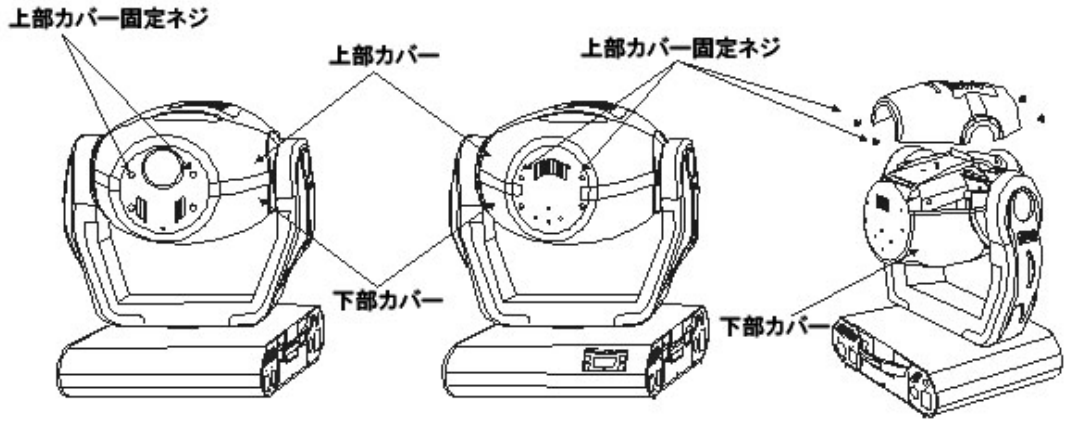
セッティング

● 電球の取り付け･交換

電球の交換と位置の調整を行います。交換電球は必ず SUPER SPOT250 の規格にあった電球を使用してください。また電球の交換を行う際には感電や火傷の恐れがありますので、必ずスイッチを OFF にしたあと、コンセントを抜き、本体及び電球が熱くなっていない事を確認してから行って下さい。
（本体が常温に戻るまで１５分程度かかります）

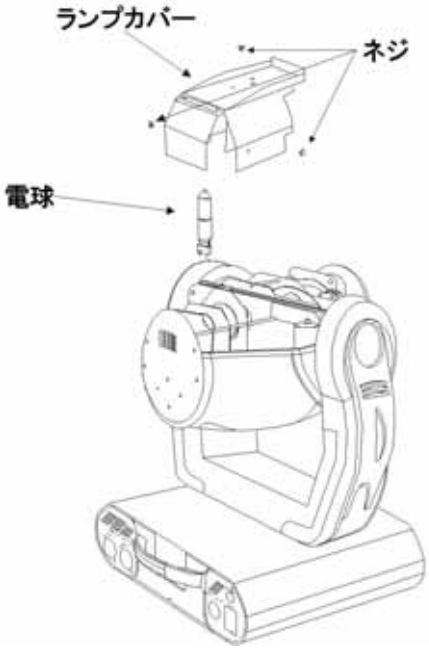
1. 上部カバーをはずします

ヘッド部分の正面および裏側のそれぞれ４隅にあるネジ、上部各２本をはずしてください。
計４本のネジをはずすと上部カバーが外れます。



2. ランプカバーをはずします

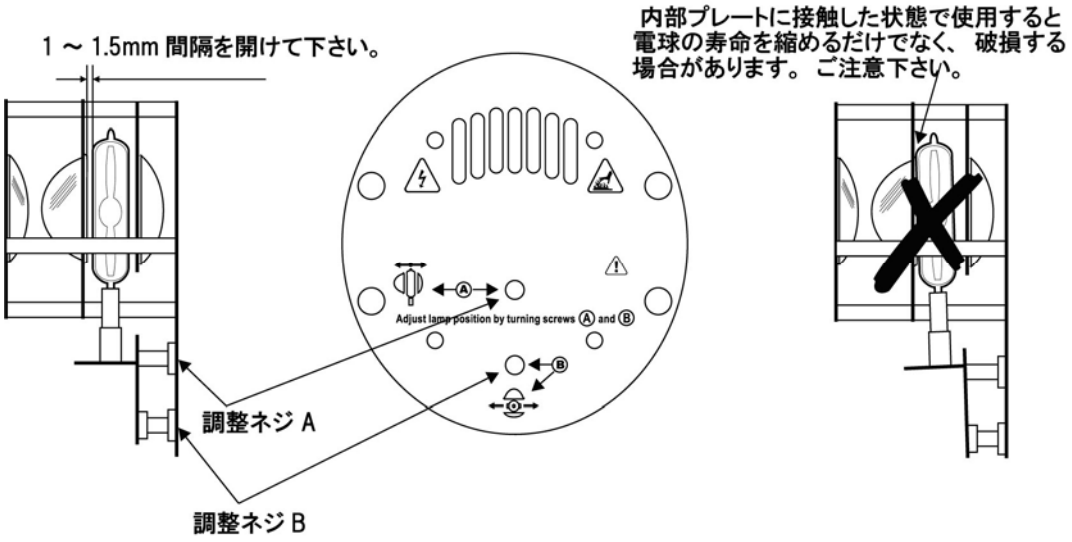
このカバーは上部と両側の計３本のネジで固定されておりますので、この３本のネジをはずしカバーをはずして下さい。カバーをはずすと電球が見えますので、電球を引き抜いて下さい。
交換電球を差し込みます。奥までしっかりとプラグがささり、コネクター部がロックされていることを確認して下さい。
電球ガラス部に手で直接触れると、油脂が付着してしまいます。油脂が付着すると、電球の寿命が短くなったり、電球が破損する恐れがありますので、油脂が付着してしまった際は、柔らかい布でお拭き取り下さい。
また衝撃等により電球内のフィラメントが崩れることもありますので、取り扱いにはご注意下さい。



3．電球の位置調整を行います

ヘッド部のリアパネルにある電球位置調整ネジ『A』と『B』を使い電球の位置を調整して下さい。電球の位置は内部のレンズから 1～1.5㎜ 間隔があくように調整して下さい。

ホットスポット（光線の最も明るい位置）を中央に合わせるには調整ネジ『B』を回して下さい。ホットスポットが明るすぎる場合電球を反射鏡に近づけることによってホットスポットの光度を弱めることができます。光が平等に分散されるように調整ネジ『A』を回して調整して下さい。光の端が中心より明るい場合、電球が反射鏡に近すぎるということです。この場合、光が平等に分散され光線が十分な明るさになるまで電球を反射鏡から離して下さい。調整が終わりましたら各カバーをきちんとはめ直して下さい。



4．電球点灯時間のカウンターをリセットします

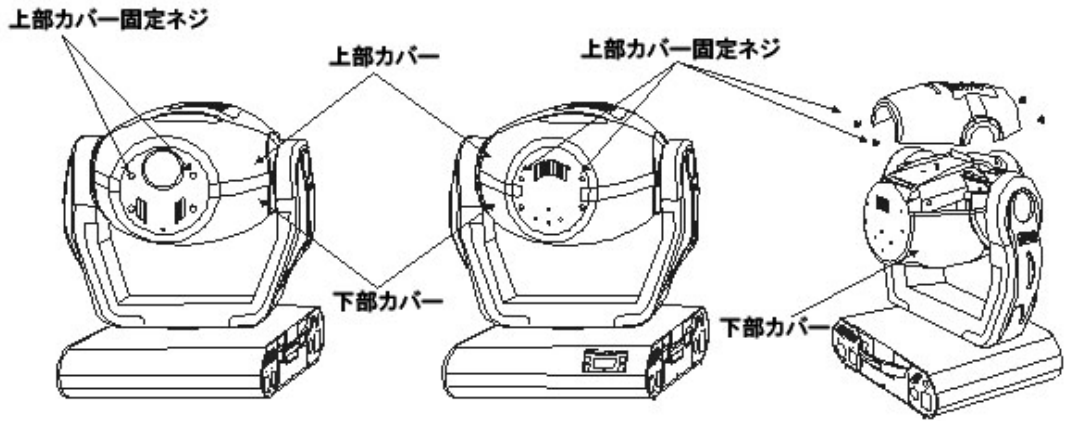
電源を投入後、電球を使用する前にコントロールボードのメインメニューから電球点灯時間のカウンターをリセットします。電球点灯時間のリセット方法は 「6，コントロールボード」の電球点灯時間(P.18)を参照して下さい。

● ゴボの挿入･交換

ゴボの交換を行います。ゴボは必ず SUPER SPOT250 の規格にあったゴボを使用してください。
またゴボの交換を行う際には感電や火傷の恐れがありますので、必ずスイッチを OFF にしたあとコンセントを抜き、本体及びゴボやゴボ ホイールが熱くなっていない事を確認して下さい。
（本体が常温に戻るまで 15 分程度かかります）

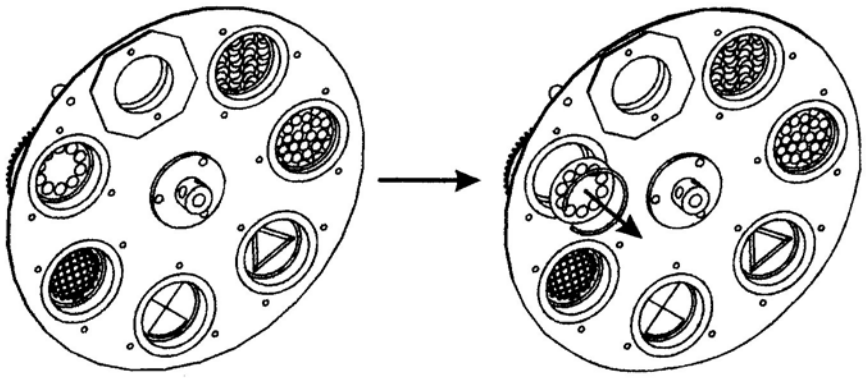
1. 上部カバーをはずします

ヘッド部分の正面および裏側のそれぞれ４隅にあるネジ、上部各２本をはずしてください。
計４本のネジをはずすと上部カバーが外れます。



2. ゴボを交換します

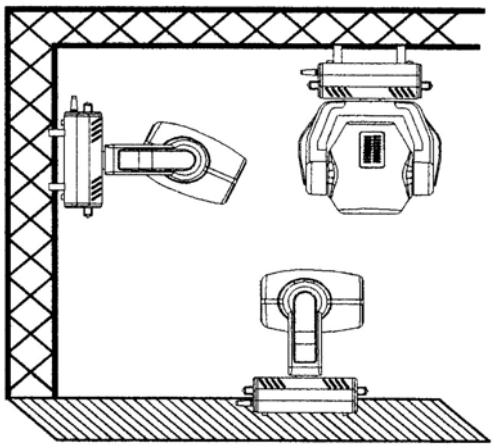
ゴボを交換する際、ロータリーゴボに付属しているネジは緩めないで下さい。玉軸受けが外れる恐れがあります。ドライバーを使いリングを取り外した後、ゴボを取り外し新しいゴボを取り付けます。
ゴボのサイズは全体サイズ 27㎜ / イメージサイズ 23㎜ のタイプを使用してください。リングを押してゴボの前方に取り付け固定して下さい。

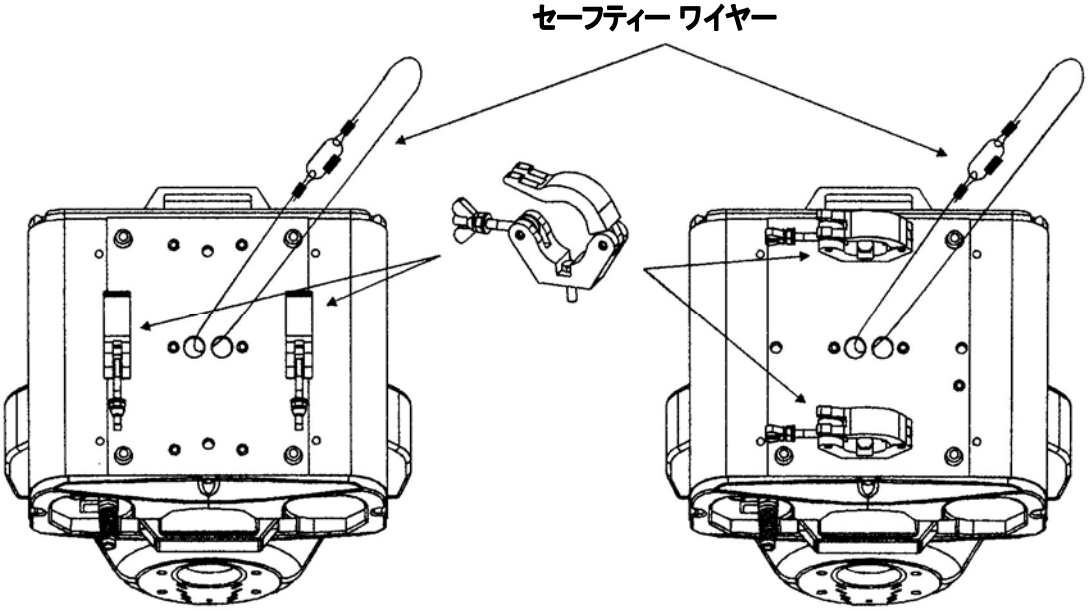


● 本体の取り付け

取り付けの際、本体の 0.5m 以内に燃えやすい物を置かないで下さい。トラス等に固定する場合には、必ず専用クランプを２個使用してください。

SUPER SPOT250 は、右図の様に様々な角度でセッティングが可能です。ベースをマウントするには 2 種類の方法があります。M10 ネジを使ってクランプを固定して下さい。この際、下図にあるようにクランプは必ず対称になるよう使用してください。
セーフティーワイヤーの耐重量は SUPER SPOT250 10 台分以上のものを使用してください。ハンドルは固定用のハンドルとしては使用できません。





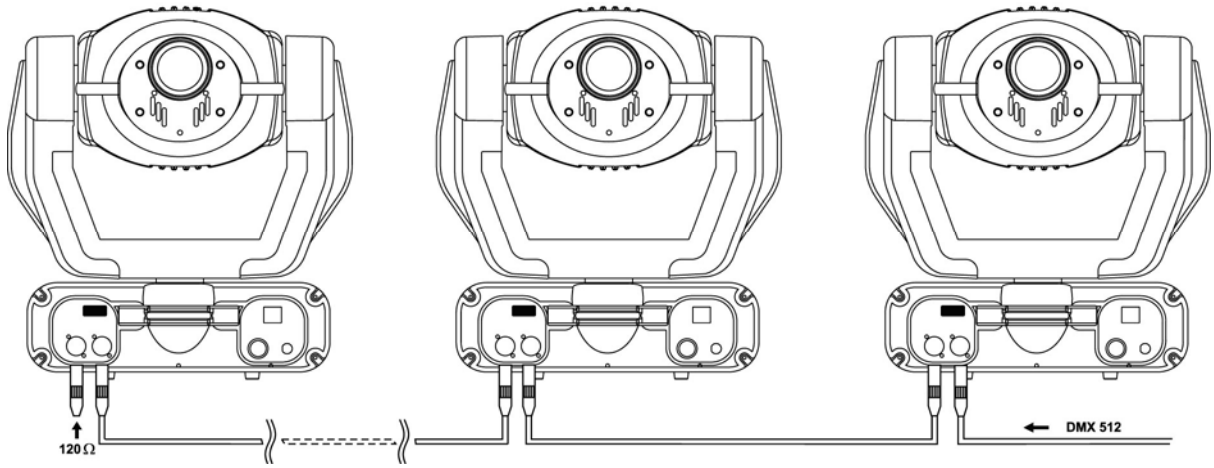
● 主電源への接続

本体を主電源に接続するには付属のプラグをお使い下さい。またアースを必ず接続して下さい。

ケーブルの配列は以下のとおりです。

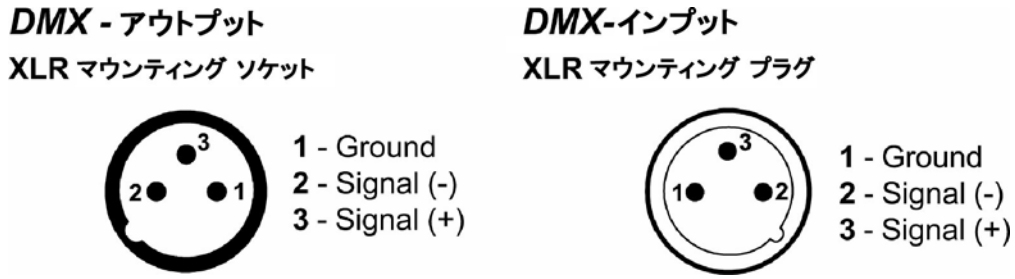
ケーブル	ピン	インターナショナル
茶	Live	L
青	Neutral	N
黄／緑	Earth	⏚

● DMX512 への接続 – 機材間接続-



DMX コントローラーを SUPER SPOT250 に接続する場合や、複数の SUPER SPOT250 同士を接続する場合、3 ピン XLR コネクターの DMX 専用ケーブルを使用して下さい。また一番最後に接続される SUPER SPOT250 の DMX アウトプットには、必ず 120Ω のターミネーターを設置して下さい。

● XLR 接続



SUPER SPOT250 の DMX アウトプットから複数の SUPER SPOT250 に配線を行ってください。
DMX コントローラーの DMX アウトプットは、直接 DMX チェーンで１番目の灯体に入力します。

● DMX チェーンの構築

DMX チェーンを構築する際は、最初の灯体の DMX 出力を次の灯体の DMX 入力に接続します。

注意：最後に接続された灯体には、ターミネーターで終端する必要があります。120Ω のターミネーターは、3 ピン XLR プラグ内の信号（－）信号（＋）間に結合させて下さい。

アドレス －DMX チャンネル設定－

● DMX アドレス

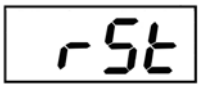
SUPER SPOT250 のコントロールパネルを使用して、対応する DMX スタートアドレスを設定することができます。DMX スタートアドレスとは、SUPER SPOT250 がコントローラーのコマンドに従って動作する為に使用する最初のチャンネルの事です。

例としてアドレスを 11 チャンネルに設定すると、SUPER SPOT250 は 11～26 チャンネルをコントロールチャンネルとして使用するようになります(16bit モード時)。接続されている他の DMX 照明と SUPER SPOT250 で使用するチャンネルが重ならないように設定してください。

複数の SUPER SPOT250 が同様のスタートアドレスに設定されている場合、動作も同じになります。

● DMX スタートアドレス設定

1．電源を入れるとディスプレイに“ rSt ”と表示され、カリブレーションが行われます。
ディスプレイの表示が“ rSt ”から他の表示に切り替わるまで、待ってください。



2．『MODE』ボタンを押しメインメニューに入ってください。その後『UP』『DOWN』ボタンを使って、
ディスプレイの表示を“ A001 ”に合わせ『ENTER』ボタンを押して決定します。
決定されるとディスプレイの“ A ”の文字のみ点滅を始めます。

3．『UP』『DOWN』ボタンを使用して、設定したい DMX スタートアドレスに合わせて下さい。

4．『ENTER』ボタンを押し DMX スタートアドレスを確定してください。キャンセルするには
『MODE』ボタンを押してください。

● コントロール

SUPER SPOT250 は DMX512 信号を受信しているか自動的に感知します。DMX512 信号が受信できていない場合、ディスプレイの『Axxx』(xxx は設定されたスタートアドレス)が点滅を始めます。
DMX コントローラーを接続し、コントローラーの電源が ON になっている状態でもディスプレイが点滅している状態の場合、下記の内容を確認してください。

- 3 ピンの XLR ケーブルを接続しただけでは接続を感知しません。DMX コントローラーの電源が入っていて、また DMX コントローラーと接続されている事を確認してください。
- DMX 信号の極性（位相 / + －）が逆になっている可能性があります。コントローラーの出力極性、ケーブルの接続に誤りがない事を確認してください。

リモートコントロール

● 電球

内蔵リレー回路により、 電球の On/Off をコントロールパネル及び DMX コントローラーで操作することが可能です。電球の On/Off 切り替えは「6.コントロールボード」の電球 on/off(P.18)の項目を参照して下さい。電球を Off にした後 5 分以内に再度電球を点灯させようとすると、電球保護の為 すぐには電球が点灯せず、5 分経過後に点灯します（電球がコールドリストライク仕様の場合、電球を消して再点灯する前に電球自体が冷たくなっている必要があります)。

電球点灯待ちの際には、ディスプレイに“ HEAt ”と表示されます。電球の点灯に 7 回失敗した場合、ディスプレイに“ LAEr ”と表示され、電球の破損あるいは電球が設置されていない、点灯装置やバラストの故障の可能性があります。

● カラーホイール

カラーホイールには 11 ダイクロイックカラー及び白色（オープン）の合計 12 色があります。

カラーホイールのポジションは隣接するカラー間のどのような位置にも設定することができます。

またカラーホイールを連続で回転させる効果はレインボーエフェクトと呼ばれ、その際カラーホイールの回転スピードの調整をすることもできます。

● ロータリー ゴボホイール

ロータリー ゴボホイールには６種類の各種ゴボを設置する事ができます。ゴボは左右両方向に回転可能で、回転スピードの調整をすることができます。またロータリーゴボホイール自体の連続回転も可能です。マルチカラーダイクロイック ゴボとカラーホイールを組み合わせることにより、様々な色のビーム光線を作り出すこともできます。

● ロータリー プリズム(三相)

ロータリープリズムは左右両方向に回転可能で、回転スピードの調整をすることができます。

● フォーカス

電動フォーカスはあらゆるポジションにおいてフォーカス調整をすることができます。

● 調光 ・シャッター ・ストロボ

0～100%調光可能な自動調光・シャッター機能が搭載されています。この機能はストロボ効果でも使用します（1 秒間に最大 10 回)。

● ファン

ヘッド部に 2 ヶ、ベース部に 1 ヶの冷却ファンが付いています。使用環境によっては、ファンの速度を遅く設定することにより、ファンの回転ノイズを小さくできます。コントロールパネルの FAnS 機能で 4 種類の速度を設定できます。設定方法に関しましては「6.コントロールボード」のファンスピード設定(P.21)を参照してください。

コントロールボード

コントロールパネルの機能について解説します。DMX アドレス、PAN / TILT リバース、電球の on / off や使用時間の参照、動作テスト、リセット、その他いろいろな機能をコントロールできます。

『Mode』キーを押すことによりメインメニューにアクセスでき、『UP』『DOWN』キーを押すことによって以下のメニューに切り替えることができます。『UP』『DOWN』ボタンを使用して選択されたメニューを決定するには『ENTER』ボタンをおして下さい。

● メニュー詳細

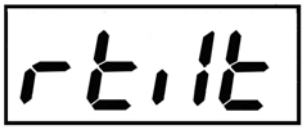
1. DMX512 アドレス

ディスプレイの“A”が点滅している状態において、『UP』『DOWN』ボタンを使用することにより、DMX スタートアドレスの設定が可能です(001-497)。DMX アドレス設定をを保存するには『ENTER』を、キャンセルするには『MODE』ボタンを押してください。

2. PAN リバース

PAN の動作を反転させます。ディスプレイに“rPAn”と表示された状態で『ENTER』ボタンを押すと、ディスプレイの表示が“OFF”もしくは“ON”と表示されますので、『UP』『DOWN』ボタンを使って切り替えてください。設定を保存するには『ENTER』を、キャンセルするには『MODE』ボタンを押してください。

3. TILT リバース



TILT の動作を反転させます。ディスプレイに“rtilt”と表示された状態で『ENTER』ボタンを押すと、ディスプレイの表示が“OFF”もしくは“ON”と表示されますので、『UP』『DOWN』ボタンを使って切り替えてください。設定を保存するには『ENTER』を、キャンセルするには『MODE』ボタンを押してください。

4. 動作解像度切り替え

動作解像度の切り替えを行います。ディスプレイに“16br”と表示された状態で『ENTER』ボタンを押すと、ディスプレイの表示が“OFF”もしくは“ON”と表示されますので、『UP』『DOWN』ボタンを使って切り替えてください。“ON”: 16BIT モード、“OFF” 8BIT モードとなります。設定を保存するには『ENTER』を、キャンセルするには『MODE』ボタンを押してください。

5. 電球点灯時間

電球点灯時間の合計を参照できます。ディスプレイに“LAti”と表示された状態で『ENTER』ボタンを押すと、ディスプレイに点灯時間の合計が表示されます。電球の入れ替え等により時間をリセットしたい場合は『UP』『DOWN』ボタンを押しながら『ENTER』ボタンを押してください。『ENTER』ボタンか『MODE』ボタンを押すことによりメインメニューに戻ります。

6. 電源投入時間

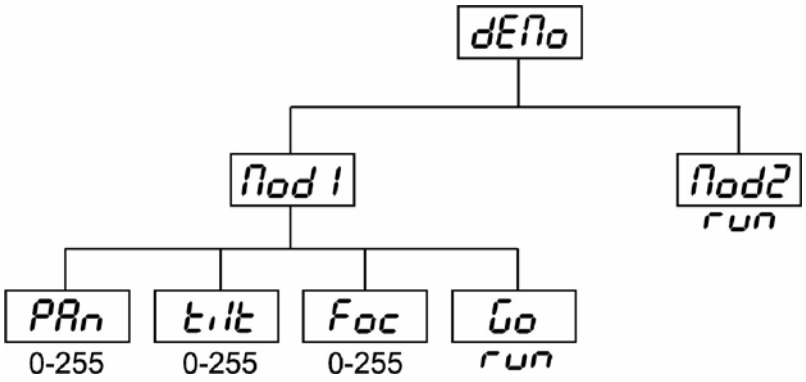
電源投入時間の合計を参照できます。ディスプレイに“Poti”と表示された状態で『ENTER』ボタンを押すと、ディスプレイに電源投入時間の合計が表示されます。電源投入時間のリセットはできません。『ENTER』ボタンか『MODE』ボタンを押すことによりメインメニューに戻ります。

7. 電球 on / off

電球の on / off を行います。ディスプレイに“LANP”と表示された状態で『ENTER』ボタンを押すと、“OFF”もしくは“ON”と表示されますので、『UP』『DOWN』ボタンを使って切り替えてください。“ON”: 電球点灯、“OFF”: 電球消灯となります。実行するには『ENTER』ボタンを、キャンセルするには『MODE』ボタンを押してください。

8. デモ シーケンス

デモ シーケンスを起動します。ディスプレイに“dENo”と表示された状態で『ENTER』ボタンを押すと、“Nod1”もしくは“Nod2”と表示されますので、『UP』『DOWN』ボタンを使って切り替えてください。“Nod1”: 照射のみ動作なしのデモ シーケンス、“Nod2”: すべての機能を使用したデモ シーケンスとなります。実行するには『ENTER』ボタンを、キャンセルするには『MODE』ボタンを押してください。

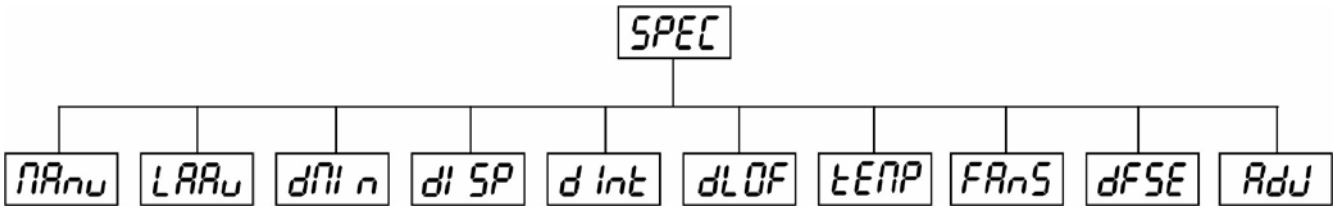


9. リセット

電球以外のすべての状態をリセットします。ディスプレイに“rESE”と表示された状態で『ENTER』ボタンを押すと、ディスプレイに“rSt”と表示されリセットされます。

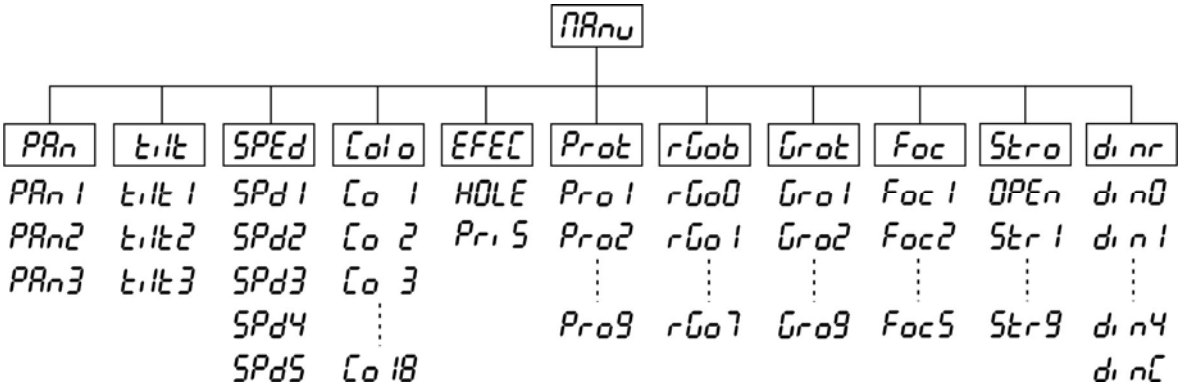
● 特殊設定

特殊設定を行います。ディスプレイに“ SPEC ”と表示された状態で『ENTER』ボタンを押すと、下図の様にさらに複数のサブメニューを選択することができます。『UP』『DOWN』ボタンを使用して、設定したいメニューを選択してください。実行するには『ENTER』ボタンを、キャンセルするには『MODE』ボタンを押してください。



1. マニュアル コントロール

マニュアルでコントロールすることができます。ディスプレイに“ NAnu ”と表示された状態で『ENTER』ボタンを押すと、下図の様にさらに複数のサブメニューを選択することができます。『UP』『DOWN』ボタンを使用して、設定したいメニューを選択し実行してください。実行するには『ENTER』ボタンを、キャンセルするには『MODE』ボタンを押してください。



2. 自動電球点灯

電源投入時に自動的に電球を点灯させる事ができます。ディスプレイに“ LAAu ”と表示された状態で『ENTER』ボタンを押すと、“ OFF ”もしくは“ ON ”と表示されますので、『UP』『DOWN』ボタンを使って切り替えてください。“ ON ”: 自動電球点灯、“ OFF ”: マニュアルでの点灯となります。実行するには『ENTER』ボタンを、キャンセルするには『MODE』ボタンを押してください。

3. DMX 値

受信している DMX 信号値を表示することができます。数値は 0～255 で表示されます。

4. ディスプレイ自動消灯

ディスプレイを自動消灯させる事ができます。ディスプレイに“dISP”と表示された状態で『ENTER』ボタンを押すと、“OFF”もしくは“ON”と表示されますので、『UP』『DOWN』ボタンを使って切り替えてください。“ON”:2 分間コントロールボードのボタンを使用しないとディスプレイを消灯します、“OFF”: 常時点灯となります。実行するには『ENTER』ボタンを、キャンセルするには『MODE』ボタンを押してください。

5. ディスプレイ照度調整

ディスプレイの明るさを調整する事ができます。ディスプレイに“dInt”と表示された状態で『ENTER』ボタンを押し、ディスプレイの明るさレベルを『UP』『DOWN』ボタンを使って切り替えてください。実行するには『ENTER』ボタンを、キャンセルするには『MODE』ボタンを押してください。

6. DMX 操作による電球消灯

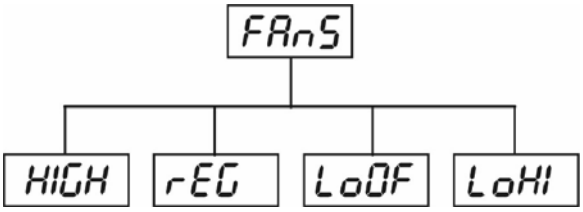
DMX 操作によって電球を消灯させる事ができます。ディスプレイに“dLOF”と表示された状態で『ENTER』ボタンを押すと、“OFF”もしくは“ON”と表示されますので、『UP』『DOWN』ボタンを使って切り替えてください。“ON”: DMX 操作によって電球を消灯します、“OFF”: マニュアル操作のみの消灯となります。実行するには『ENTER』ボタンを、キャンセルするには『MODE』ボタンを押してください。

7. 内部温度(ヘッド部)

本体の内部温度を表示します。ディスプレイに“tENP”と表示された状態で『ENTER』ボタンを押すと、本体の内部温度が表示されます。内部温度が 70°C以上になった場合、電球のスイッチが自動的に OFF になります。

8. ファンスピード設定

ファンのスピードを４種類から選択し設定することができます。ディスプレイに“FAnS”と表示された状態で『ENTER』ボタンを押すと、“HIGH”“reG”“LoOF”もしくは“LoHI”と表示されますので、『UP』『DOWN』ボタンを使って切り替えてください。実行するには『ENTER』ボタンを、キャンセルするには『MODE』ボタンを押してください。



最高速度
最高速度でファンが回転します。

自動調整
内部温度に応じて自動的にファンの速度が可変します。

最低速度⇒電球消灯
内部温度が動作最高温度値を超えるまで最低速度でファンが回転します。最高温度を超えると、自動的に電球が消灯されます。

最低速度⇒最高速度
内部温度が動作最高温度値を超えるまで最低速度でファンが回転します。最高温度を超えると、ファンのスピードが自動的に最高速度になります。

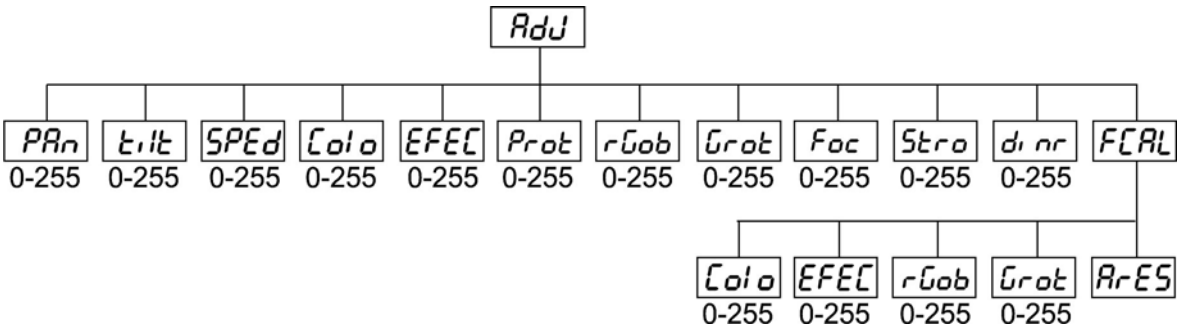
9. 設定の初期化

すべての設定を工場出荷状態に初期化することができます。ディスプレイに“ dFSE ”と表示された状態で『ENTER』ボタンを押して下さい(使用積算時間、電球使用積算時間はそのまま残ります)。ディスプレイに“ rSt ”と表示され、初期化されたことが確認できます。下図は各機能の初期設定です。

設定項目	ディスプレイ	初期設定値（灰色）
PAN リバース	rPAn	On
		OFF
TILT リバース	rtilt	On
		OFF
動作解像度	16br	On
		OFF
自動電球点灯	LAAu	On
		OFF
ディスプレイ自動消灯	diSP	On
		OFF
ディスプレイ照度調整	d Int	20 40 60 80 100
DMX 操作による電球消灯	dLOF	On
		OFF
ファンスピード設定	FAnS	HIGH
		rEG
		LoOF
		LoHI

10. カラー、ゴボ及びエフェクトホイール等の位置調整

カラー、ゴボ及びエフェクトホイール等の位置を調節する事ができます。ディスプレイに“AdJ”と表示された状態で『ENTER』ボタンを押すと、“Pan”“Tilt”“SPEd”“Colo”“EFEC”“Prot”“rGOB”“Grot”“Foc”“Stro”“dimr”もしくは“FCAL”と表示されます。“FCAL”にて位置の調整・保存を行いますが、事前に他のメニューで SUPER SPOT250 を動作させ、設定を行いやすい状態にして下さい。位置の調整方法は次項の通りとなります。



コントロールボードを使用して調整を行う場合

『Up』『Down』ボタンを使用し、ディスプレイを“FCAL”に切り替え『ENTER』ボタンを押してください。その後設定したい項目をディスプレイに表示し、再度『Enter』ボタンを押し確定します。

適切な位置になるよう 0 から 255 までの数値を『UP』『DOWN』ボタンで選択し、正しい位置に調整しましたら『Enter』ボタンを押し確定して下さい。キャンセルしたい場合は『Mode』ボタンを押すことによりメニューに戻ります。この作業を各パラメーターごと繰り返し行って下さい。

設定調整が終了しましたら、新しい設定値を保存する為、ディスプレイを“ArES”に切り替え『ENTER』ボタンを押してください。SUPER SPOT250 が一度リセットされ、ディスプレイに“FCAL”というメッセージが表示されます。位置の調整を続行したい場合は『Enter』ボタンを押してください。終了したい場合は『Mode』ボタンを押すことにより“AdJ”に戻ります。

外部コントロールを使用して調整を行う場合

『Up』『Down』ボタンを使用し、ディスプレイを“FCAL”に切り替え『ENTER』ボタンを押してください。その後“Colo”“EFEC”“rGob”“Grot”のいずれかを選択し『Enter』ボタンを押して確定します。DMX コントローラーを使用して適切な位置になるよう調整を行ってください。この場合の DMX のチャンネル対応は下図の通りとなります。

正しい位置に調整が終わりましたら『Enter』ボタンを押し確定して下さい。キャンセルしたい場合は『Mode』ボタンを押すことによりメニューに戻ります。この作業を各パラメーターごと繰り返し行って下さい。

設定調整が終了しましたら、新しい設定値を保存する為、ディスプレイを“ArES”に切り替え『ENTER』ボタンを押してください。SUPER SPOT250 が一度リセットされ、ディスプレイに“FCAL”というメッセージが表示されます。位置の調整を続行したい場合は『Enter』ボタンを押してください。終了したい場合は『Mode』ボタンを押すことにより“AdJ”に戻ります。

DMX チャンネル	1	2	3	4	5	6	7	8
設定項目	カラー	-	エフェクト	ロータリング ゴボ	ゴボ ローテーション	-	カラー	-
	微調整 0 - 255		微調整 0 - 255	微調整 0 - 255	微調整 0 - 255	-	通常動作	-
	SMOOTH MICROSTEP MOVEMENT							

9	10	11	12	13	14	15	16
エフェクト（プリズム）	プリズム ローテーション	ロータリング ゴボ	ゴボ ローテーション	-	フォーカス	ストロボ	ディマー
通常動作	通常動作	通常動作	通常動作	-	通常動作	通常動作	通常動作

※1.3.4.5ch を使用して位置の微調整を行います。

メッセージ (ディスプレイ)

一度電源を切ってから 5 分以内に再度電源を入れた場合 (電球が熱すぎる場合も含む) や、電球のスイッチを on にしてから 28 秒以上経っても電球が点灯しない場合このメッセージが表示されます。5 分経つと自動的に再度電球を点灯します。

ランプの点灯に 7 回失敗した場合 ("HEAt"が 6 回表示された後)、表示されます。この場合以下の可能性が考えられます。

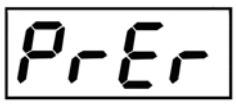
- 電球が損傷している、もしくは電球が入っていない
- 本体の周囲温度が 45℃以上の場合
- 電球点灯機もしくはバラスト(電灯安定機)の故障の可能性

メイン PCB がコントロールパネルと正確に通信できていない場合に表示されます。

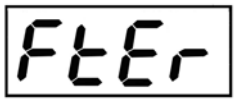
電源投入時や本体リセット後に、カラーホイール・センサーが誤動作を起こした場合、もしくはモーターの磁石が欠けている場合に表示されます。モーター、メイン PCB のドライバー回路に欠陥があった場合や誤作動を起こしている場合にも同様のエラーメッセージが表示されます。

電源投入時や本体リセット後に、ロータリーゴボホイール・センサーが誤動作を起こした場合、もしくはモーターの磁石が欠けている場合に表示されます。モーター、メイン PCB のドライバー回路に欠陥があった場合や誤作動を起こしている場合にも同様のエラーメッセージが表示されます。

電源投入時や本体リセット後に、ロータリーゴボ インデックスが誤動作を起こした場合、もしくはモーターの磁石が欠けている場合に表示されます。モーター、メイン PCB のドライバー回路に欠陥があった場合や誤作動を起こしている場合にも同様のエラーメッセージが表示されます。



電源投入時や本体リセット後に、プリズム機能が誤動作を起こした場合、もしくはモーターの磁石が欠けている場合に表示されます。モーター、メイン PCB のドライバー回路に欠陥があった場合や誤作動を起こしている場合にも同様のエラーメッセージが表示されます。

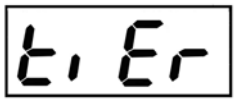


本体がオーバーヒート (周囲温度が 45℃以上) してしまい、自動的に電球が消灯された場合に表示されます。このメッセージは本体が適温になるまで消えません。本体の温度が下がっても、電球消灯後 5 分以上立っていない場合、HEAt と表示されます。

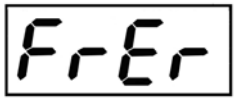
電球点灯センサーが故障した場合に表示されます。

本体の主電源が瞬間的に突然切れた場合に表示されます。

電源投入時や本体リセット後に、PAN(ヨーク部)センサーが誤動作を起こした場合、もしくはモーターの磁石が欠けている場合にこのメッセージが表示されます。モーター、メイン PCB のドライバー回路に欠陥があった場合や誤動作を起こしている場合にも同様のエラーメッセージが表示されます。



本体リセット後に TILT(ヘッド部)センサーが誤動作を起こした場合、もしくはモーターの磁石が欠けている場合にこのメッセージが表示されます。モーター、メイン PCB のドライバー回路に欠陥があった場合や誤動作を起こしている場合にも同様のエラーメッセージが表示されます。



メイン電源の周波数が標準の 50～60Hz でない場合、表示されます。

上記のメッセージが表示された場合、一度本体をリセットするか電源を入れなおして下さい。
メッセージが表示されたまま症状が改善されない場合は、ご購入された販売店までご連絡下さい。

DMX プロトコル

● 動作解像度 16BIT モード時

チャンネル	DMX 値	設定
1 (PAN)		**PAN**
	0-255	PAN (ヨーク部の回転) をコントロールします。 ・動作範囲 530 °
2 (PAN FINE)		**PAN FINE 16BIT**
	0-255	PAN の動きを微調整します。
3 (TILT)		**TILT**
	0-255	TILT (ヘッド部の回転) をコントロールします。 ・動作範囲 280 °
4 (TILT FINE)		**TILT FINE 16BIT**
	0-255	TILT の動きを微調整します。
5 (PAN / TILT 動作スピード)		**PAN / TILT 動作スピード** PAN / TILT の動作スピードをコントロールします。
	0	・最高速度
	1-249	・最高速度⇒最低速度
	250-255	・最高速度 Pan / Tile 動作時、カラー変更時は暗転します。
6 (電球 on / off リセット ファンスピード)		**電球 on / off, リセット, ファンスピード**
	0-127	・ ファンスピード 最高速度⇒最低速度
	128-139	・ 全ての状態をリセットし、電球を点灯します。
	140-229	・ 使用しません。
	230-239	・ 3秒後電球を消灯します。
	240-255	・ 使用しません。
7 (カラー)		**カラー** COLOR (色) をコントロールします。
	0	・オープン / 白
	10	・UV フィルター
	21	・レッド
	32	・シアン
	42	・グリーン
	53	・マゼンタ
	64	・ライト ブルー
	74	・イエロー
	85	・グリーン
	96	・ピンク
	106	・ブルー
	117	・オレンジ
	128-189	・レインボーエフェクト 最高速度⇒最低速度 色が順々に移り変わります。 カラー・ホイールは順回転します。
	190-193	・カラー・ホイールの動作をとめます。
	194-255	・レインボーエフェクト 最低速度⇒最高速度 色が順々に移り変わります。 カラー・ホイールは逆回転します。
8		使用しません。

チャンネル	DMX 値	設定
9 (プリズム)		**プリズム エフェクト (三相)** エフェクト機能をコントロールします。
	0-95	・オープン
	96-159	**・プリズム機能を使用します。**
	160-255	・プリズム/ゴボマクロ
	160-167	・マクロ 1
	168-175	・マクロ 2
	176-183	・マクロ 3
	184-191	・マクロ 4
	192-199	・マクロ 5
	200-207	・マクロ 6
	208-215	・マクロ 7
	216-223	・マクロ 8
	224-231	・マクロ 9
	232-239	・マクロ 10
	240-247	・マクロ 11
	248-255	・マクロ 12
10 (プリズム ローテーション)		**プリズム ローテーション コントロール** プリズム機能使用時の、プリズム ローテーション機能を コントロールします。
	0	・ ローテーション機能を使用しません。
	1-126	・ 最高速度⇒最低速度 順回転
	127-128	・ ローテーション機能を使用しません。
	129-255	・ 最低速度⇒最高速度 逆回転
11 (ゴボ)		**ロータリー ゴボ** ゴボをコントロールします。
	0-31	・ OPEN
	32-63	・ 1 つ目に設置されたゴボを選択します。
	64-95	・ 2 つ目に設置されたゴボを選択します。
	96-127	・ 3 つ目に設置されたゴボを選択します。
	128-159	・ 4 つ目に設置されたゴボを選択します。
	160-191	・ 5 つ目に設置されたゴボを選択します。
	192-223	・ 6 つ目に設置されたゴボを選択します。
	224-255	・ ゴボが順々に入れ替わります 最低速度⇒最高速度
12 (ゴボ インデックス / ゴボ ローテッド)		**ロータリー ゴボ インデックス** **/ ゴボ ローテッド** ロータリー ゴボ機能 ゴボ ローテッド機能を コントロールします。
	0-127	・ ゴボインデックス(向き調整)
	128-190	・最高速度⇒最低速度 順回転
	191-192	・ 回転を止めます
	193-255	・ 最低速度⇒最高速度 逆回転
13		使用しません。
14 (フォーカス)		**フォーカス** ピントの調整を行います。
	0-255	

チャンネル	DMX 値	設定
15 (シャッター / ストロボ)		**シャッター / ストロボ** シャッター（ストロボ機能）をコントロールします。
	0-31	・クローズ
	32-63	・オープン
	64-95	・ストロボ機能　最低速度⇒最高速度 最高速度時は1秒間に 10 回
	96-127	・オープン
	128-159	・パルス機能　最低速度⇒最高速度
	160-191	・オープン
	192-223	・ランダム ストロボ機能。最低速度⇒最高速度
	224-255	・オープン
16 (ディミング)		**ディミング** 明るさをコントロールします。
	0-255	0-100%

● 動作解像度8BIT モード時

DMX チャンネル	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
設定	PAN	TILT	PAN/TILT スピード	ファン 電球 ON/OFF	カラー	-	プリズム	プリズム ローテーション	ロータリング ゴボ	ゴボ ローテーション	-	フォーカス	ストロボ	ディミング

メンテナンスとクリーニング

SUPERSPOT250 は非常にデリケートな照明器具ですので、常に清潔な状態であるよう心がけて下さい。
ほこり、汚れ およびスモークやヘイズの残留物が、本体外部や内部に残らない様に必ず頻繁に清掃を
行ってください。クリーニングを行わないと、レンズやカラーホイール等がくもり、著しく光量が減少します。
また故障の原因ともなりますの。クリーニングを行う際、アルコールまたは溶剤は絶対に使用しないで下さい。
各部位の清掃方法は下図の通りとなります。

清掃部位	期間	清掃方法
本体外部	**１週間に１回以上**	柔らかい布を湿らせて清掃して下さい。
各レンズ	**１週間に１回以上**	柔らかい布を湿らせるか、専用のガラスクリーナーで清掃して下さい。
冷却ファン	**１ヶ月に１回以上**	掃除機やエアクリーナーでほこりを取り除き、スモークやヘイズの残留物がある場合は、柔らかい布で拭き取ってください。
ゴボ	**１ヶ月に１回以上**	柔らかいブラシ等で清掃してください。マルチカラーのダイクロイック ゴボ等は柔らかい布で清掃して下さい。
カラーフィルター	**１ヶ月に１回以上**	柔らかい布で清掃してください。
その他 内部パーツ	**１ヶ月に１回以上**	掃除機やエアクリーナー等で清掃を行ってください。 その際、油や水等がつかない様注意して下さい。
ロータリー ゴボ	**6 ヶ月に１回以上**	古くなった油を取り除いてから、適量の油をさして下さい。 油を多く差しすぎると故障の原因にもなります。

－表はあくまで目安となりますので、使用頻度に合わせてメンテナンスとクリーニングを行ってください－

サービスについて

◆ 保証書

この商品には保証書がついています。ご住所･お名前･お買い上げ年月日･販売店名など所定事項を記入および記載内容をお確かめの上、大切に保管して下さい。

保証書は当社がお客様に保証期間内の無償サービスをお約束するものです(必要なメンテナンスを行わなかった場合、外的要因による場合、消耗品は保証対象外となります)。また保証書を紛失された場合、保証期間内であってもサービスが受けられない場合がありますのでご注意ください。

◆ 故障の修理

故障かな？と思われる症状の時は、この説明書をもう一度よくお読みになり、電源･接続･操作などをお確かめください。それでも症状が改善されない場合には、お買い上げの販売店へご連絡ください。修理の際には保証書が必要となり、保証規定により、修理等のサービスをさせていただきます。

◆ 損害に対する責任

この商品の使用または使用不能により、お客様に生じた損害（事業の中断、事業利益の損失、その他 特別損失や逸失利益）については、当社は一切その責任を負わないものとします。

また如何なる場合においても、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払いになったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

取り扱い店

販売元・お問い合わせ窓口

株式会社プレイテック(PlayTech inc.)

所在地 〒286-0045 千葉県成田市並木町 8-2-715

TEL：0476-24-8222　FAX：0476-24-8227

e-mail. info@playtech.co.jp

http://www.playtech.co.jp

※所在地 電話番号等は変更されることがあります。